2020年6月期

決算説明資料

株式会社ウイルプラスホールディングス

東証第一部:3538



目次

WILLPLUS

- + 事業内容
- + 成長戦略
- + 今期の取り組み
- + 連結業績
- + 通期連結業績予想
- + 株主還元
- + APPENDIX

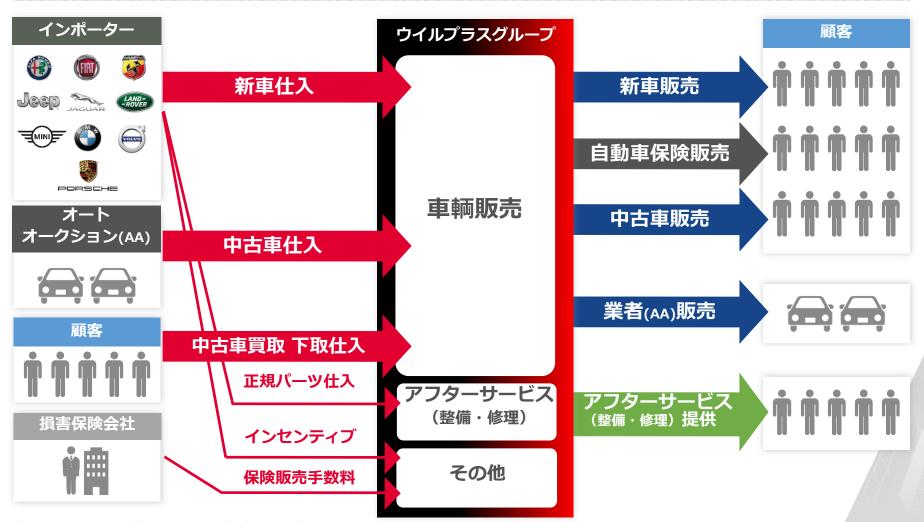
事業内容



事業内容



新車、中古車、業販、車輌整備、その他を取扱い



ストック型ビジネス



車輌整備、その他事業はストック型のビジネスモデル

メンテナンスパック等による入庫の確保

車輌販売

車輌整備

管理顧客の増加

車輌販売

保険加入

管理顧客の増加

販売台数が多いため、

- ①車輌整備による収益が多い
- ②手数料の好条件

業界平均より高い加入率

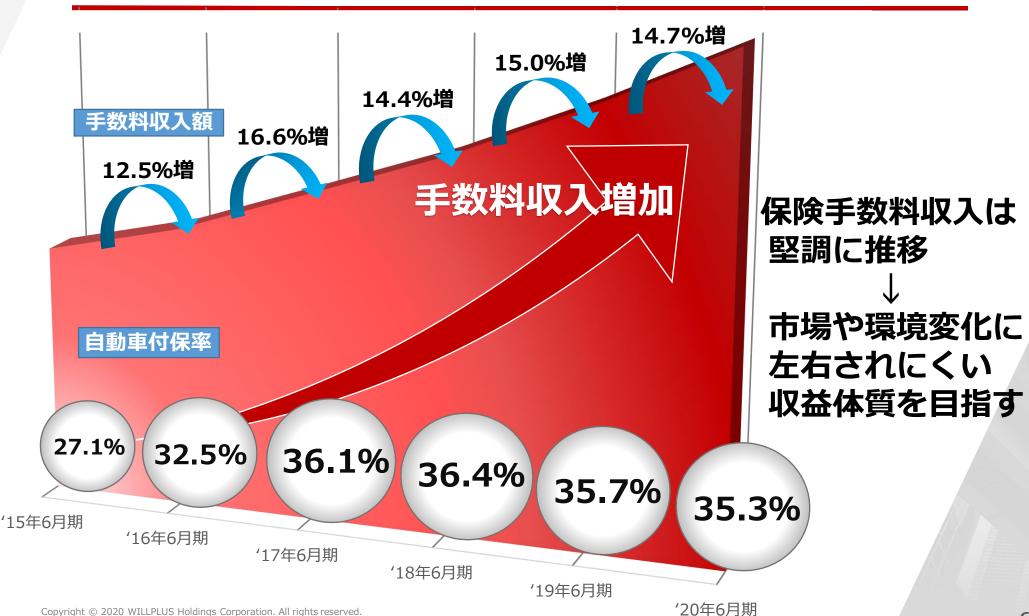
高い継続率

ストック型ビジネスによる安定収入



ストック型ビジネス





成長戦略



グループ成長戦略



マルチブランド戦略

ドミナント戦略

M&A戦略

マルチブランド戦略



計10ブランドを扱うことにより、ブランド間の新型モデル投入時期の差異による販売サイクルへの影響を平準化

新型モデル発売時期による平準化イメージ







ドミナント戦略



ディーラーネットワークのドミナント(例)



神奈川エリア ディーラーネットワーク

- **●ジャガー・ランドローバー湘南**(アプルーブド平塚)
- **②ジャガー・ランドローバー湘南**(湘南ショールーム)
- **③ジャガー・ランドローバー湘南**(サービスセンター)
- **4** JEEP藤沢湘南
- **⑤**アルファロメオ藤沢湘南
- **⑥**フィアット・アバルト藤沢湘南

北九州エリア ディーラーネットワーク

- ●ボルボ・カー北九州
- **②**JEEP北九州
- **❸**BMW小倉
- **4**BMW八幡
- **G**MINI小倉
- **⑥ジャガー・ランドローバー北九州**

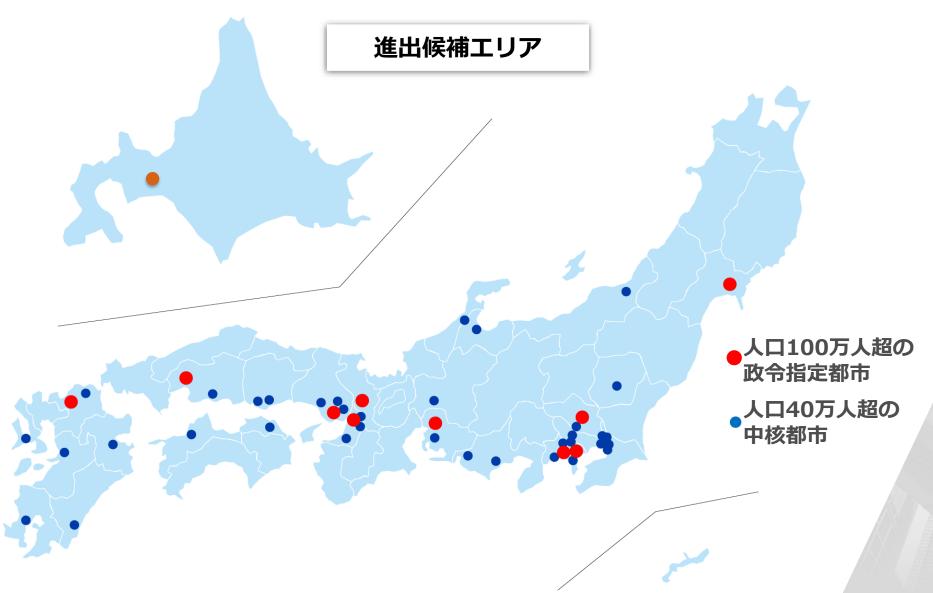


新たなエリアへの進出

新たなブランドの獲得 (マルチブランド戦略)

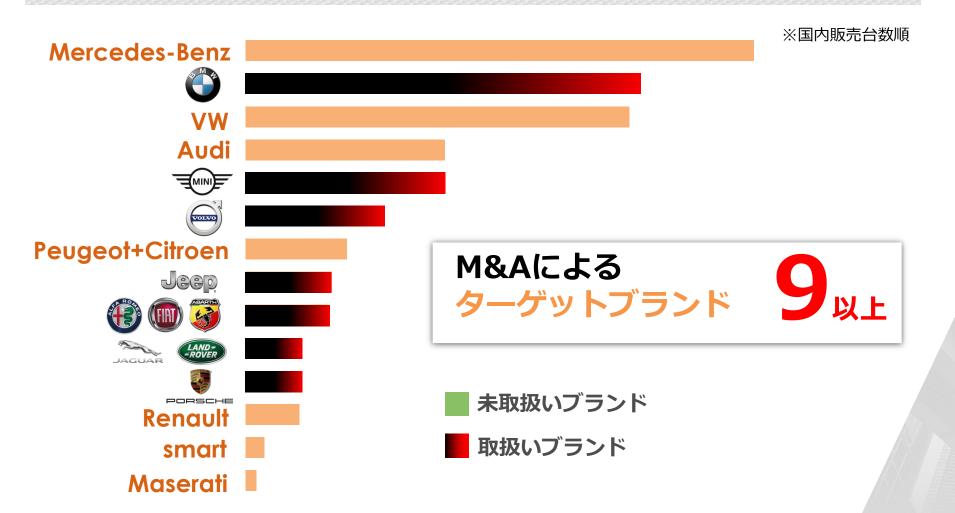
既存ブランドのシェア拡大







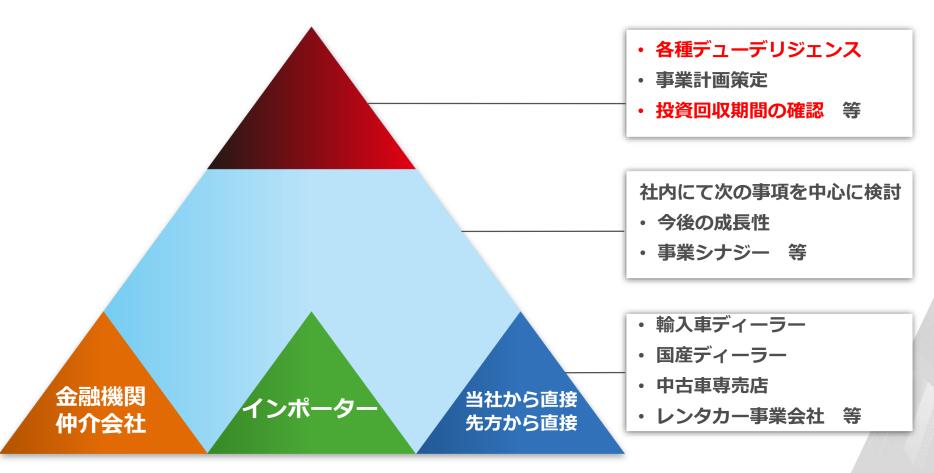
未取扱いブランド





M&A案件の発生・成立

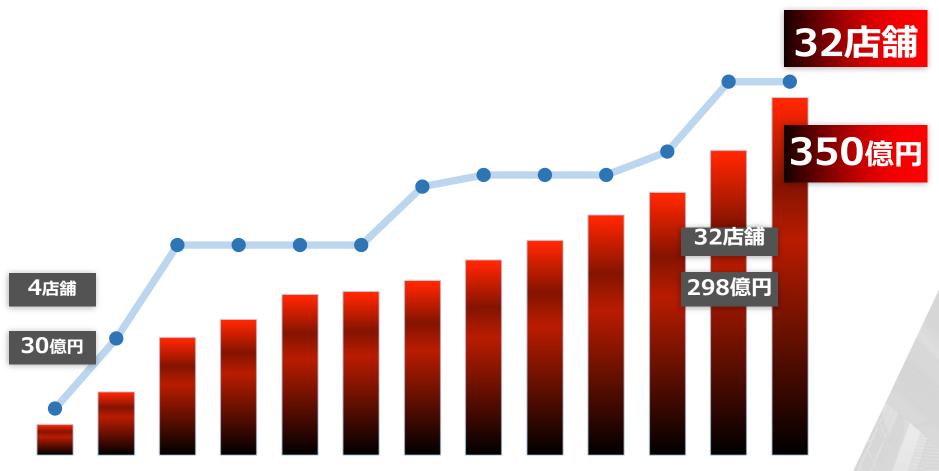
- 金融機関等の紹介、インポーター、オーナー持ちこみ等により発生
- 当社の投資回収基準に沿った案件のみデューデリジェンスを実施し、交渉を経て成立



店舗数及び売上高の推移



積極的なM&Aと新規出店により売上高が増加



'08/6期 '09/6期 '10/6期 '11/6期 '12/6期 '13/6期 '14/6期 '15/6期 '16/6期 '17/6期 '18/6期 '19/6期 '20/6期

今期の取り組み





2019年11月16日付にて「MINI博多/MINI NEXT博多」を リニューアルオープン 最新のCIに準拠





2019年11月30日付にて「チェッカーモータース アプルーブド宗像」を新規オープン 当社グループ初の輸入車中古車専門店





2020年1月4日付にて「MINI山口/MINI NEXT山口」を 新築移転オープン より好立地に 最新のCIに準拠





2020年5月11日付にて「ジャガー・ランドローバー北九州」 を新築移転オープン より好立地に 最新のCIに準拠





2020年5月23日付にてMINI小倉/MINI NEXT小倉をリニューアルオープン 最新のCIに準拠





2020年6月6日付にて「ポルシェセンター仙台」をリニューアルオープン



店舗への積極投資



既存店舗への投資

CI変更

- 最新のCIに準拠し、ブランド毎の様々なリテール体験を提供
- 最新の設備等による高品 質なサービスを提供

移転オープン

- 視認性、利便性に長けた 好立地に移転
- 経営効率の向上

新規店舗への投資

新規オープン

- ■商圏の拡大
- 既存エリアの補完
- 既存ブランドの業容拡大

来場顧客、CS向上によるリピーターの増加



収益の向上

連結業績



新型コロナ環境下の国内市場動向



- ・国内の前年比新車販売台数は、いずれの月も前年比で減少
- ・5月の50%減少をピークにいったん底打ちする形に

新車販売台数推移(前年比)

	4月	5月	6月
国内新車市場 ※乗用車のみ	▲37.7 %	▲50%	▲29.9%
		最大下落率	A



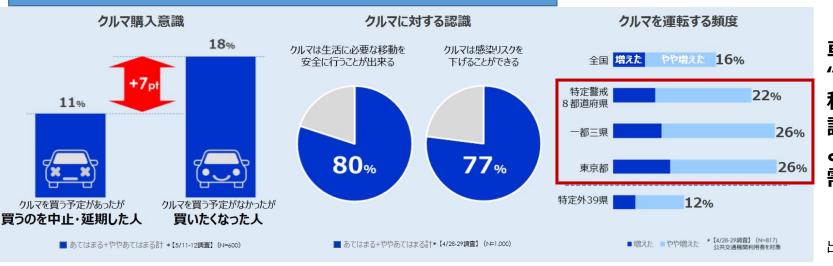
新型コロナ環境下での当社来場動向

緊急事態宣言発令後、外出自粛により来店客数は減少するが徐々に回復 ご参考)コロナ禍で人々の車への意識・行動は変化

月別来店客数推移(前年比)※既存店ベース



ご参考)コロナ禍の影響によるクルマの購入意識の変化



車は "密"を避けられる 移動手段としても 認識される ようになり、 需要は増している

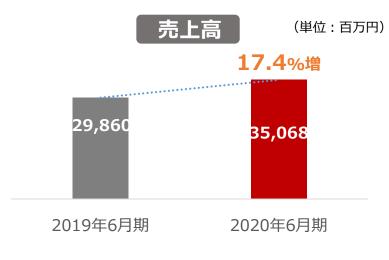
出典:株式会社デルフィス

連結業績ハイライト



· 売上高: 35,068百万円(前年同期比17.4%增)

• 営業利益: 1,160百万円(前年同期比3.8%増)



売上高増加要因

- ■JEEP・VOLVOの新車販売、 各ブランド高額車輌販売が堅調に推移
- ■中古車販売、ストック型ビジネスである 車輌整備・その他売上が堅調に推移



営業利益増加要因

■高額車輌販売比率の増加により売上原価率が増加、 売上高増加に伴う販売費が増加するも 売上総利益が増加

連結損益計算書



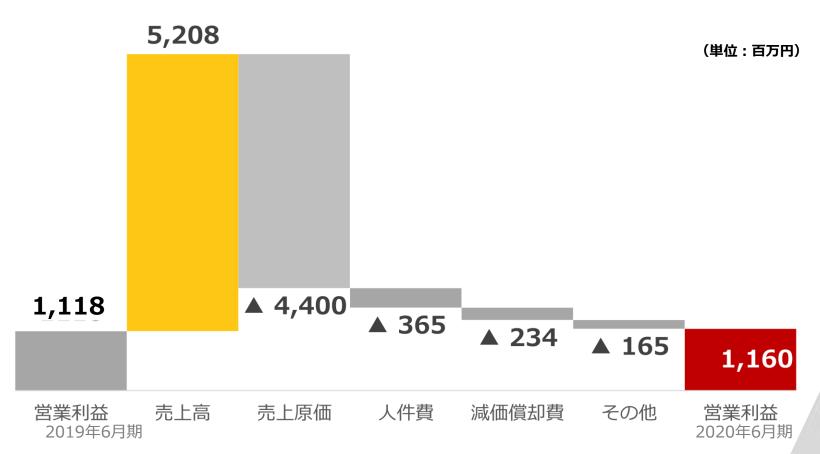
(単位:百万円)	2019年度	2020年度	増減額	増減率
売上高	29,860	35,068	+5,208	+17.4%
営業利益	1,118	1,160	+ 42	+ 3.7%
営業利益率	3.7%	3.3%	▲ 0.4Pt	_
経常利益	1,115	1,196	+81	+7.2%
経常利益率	3.7%	3.4%	▲0.3Pt	-
当期純利益	730	802	+72	+9.8%
当期純利益率	2.4%	2.2%	▲0.2Pt	_

売上高、利益ともに前年同期比増

営業利益の推移(増減分析)



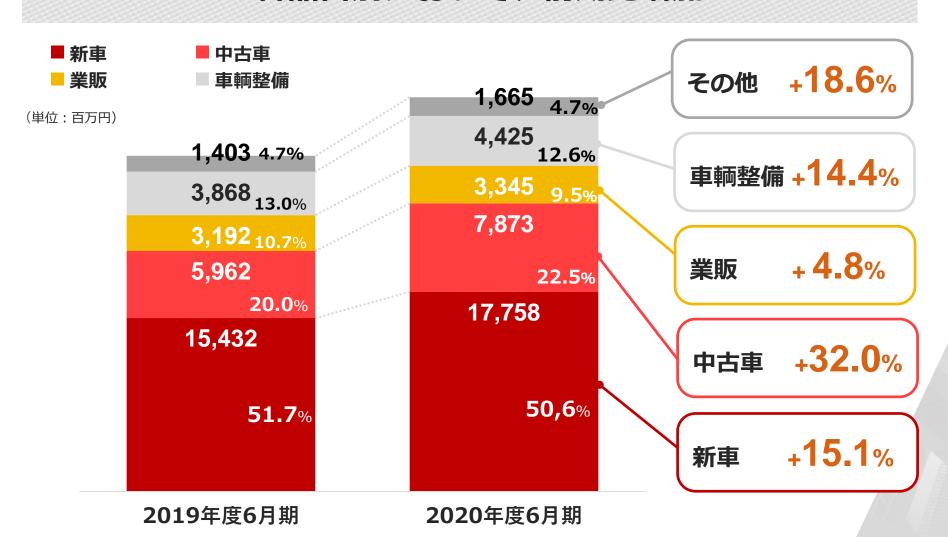
- ・売上高は、新車・中古車を中心に各品目において前年同期比で増加
- ・売上高増加に伴う販売関連費用、店舗及び人員増加に伴う諸経費が増加
- ・減価償却費が増加



品目別売上高



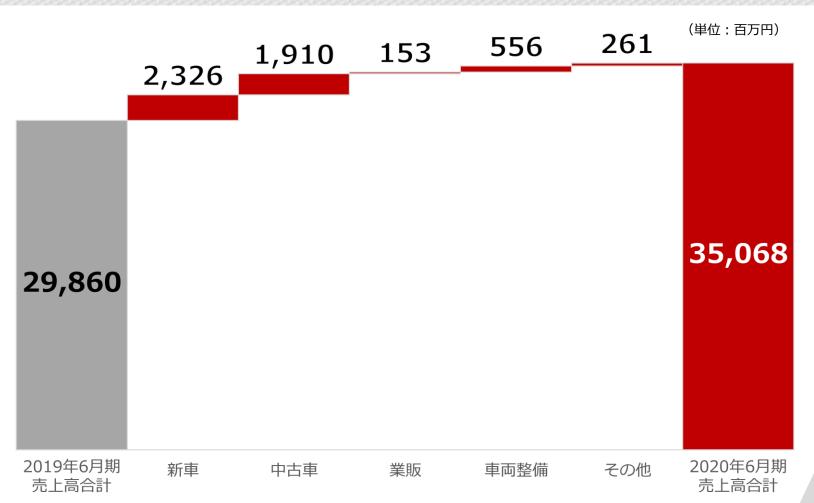
各品目別において、前期比増加



品目別売上高増減分析

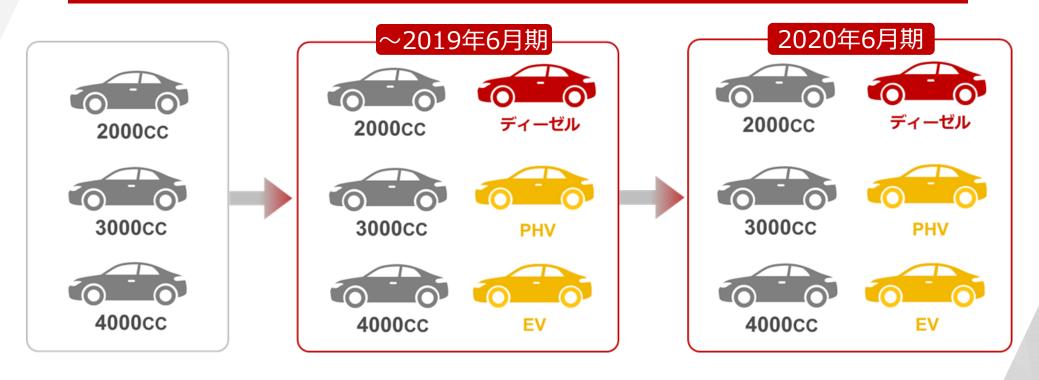


新車を中心にすべての品目で前年比増



デモカーの減価償却費増加





エンジンの多様化対応は落ち着き、店舗当たりの台数増加傾向は 横ばい。

減価償却費のうち、車輛減価償却費の構成比も共に横ばい。 但し、店舗増・高額車輛取扱いに開始に伴い総額は増加。

連結貸借対照表(資産)



(単位:百万円)	2019年度	2020年度	増減額	増減率
流動資産	8,247	9,269	+1,021	+12.4 %
現預金	1,412	2,522	+1,109	+78.6 %
商品	5,338	5,492	+153	+2.9 %
固定資産	6,425	7,376	+950	+14.8 %
建物及び構築物	2,546	3,313	+767	+30.1 %
資産合計	14,673	16,645	+1,971	+13.4%
総資産経常利益率 (ROA)	8.6%	7.6%	▲1.0Pt	_

総資産は1,971百万円増加

→ うち、商品(新車・中古車)の増加は153百万円

連結貸借対照表(負債・純資産)



(単位:百万円)	2019年度	2020年度	増減額	増減率
流動負債	7,492	9,261	+1,768	+23.6%
買掛金	2,532	3,081	+549	+21.7%
短期借入金	2,986	4,231	+1,245	41.6%
固定負債	1,759	1,261	▲ 498	▲28.3%
負債合計	9,252	10,522	+1,269	+13.7%
純資産	5,421	6,123	+701	+12.9%
自己資本利益率 (ROE)	14.3%	13.9%	▲0.4Pt	_
自己資本比率	36.9%	36.8%	▲ 0.1Pt	_

主に買掛金・借入金の増加により負債が増加、純資産は701百万円の増加

連結キャッシュフロー計算書



(単位:百万円)	2019年度	2020年度	増減額
営業CF	57	1,717	+1660
投資CF	▲ 1,881	▲ 1,201	+679
財務CF	1,772	594	▲ 1,178
現金及び現金同等物 増減	▲ 51	1,109	+1,160
現金及び現金同等物 残高	1,412	2,522	+1,110

※百万円未満は切り捨てにて表記

営業キャッシュフロー増加の主な要因

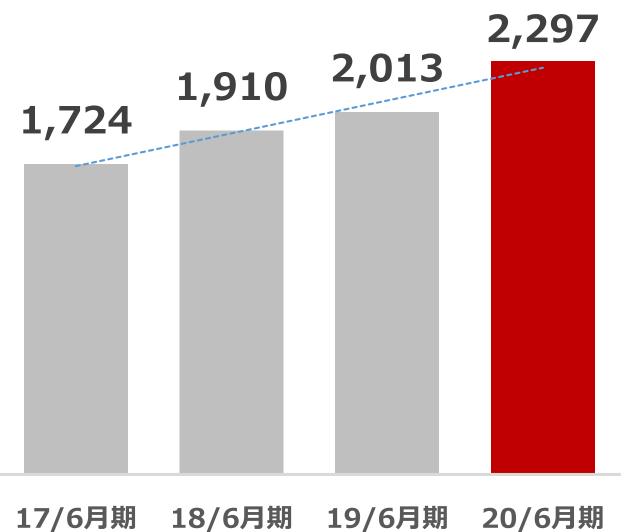
税金等調整前当期純利益:1,206百万円、減価償却費:1,073百万円

財務キャッシュフロー増加の主な要因

借入金の増加→短期:1,300百万円

EBITDA





(単位:百万円)

前年同期比で 284百万円 の増加



通期連結業績予想

連結業績予想ハイライト



売上高 : 36,134百万円(前期比3.0%増)

営業利益:1,180百万円(前期比1.7%增)

- ・新型コロナウイルスの影響に関しては 少なくとも今年度中は続くと想定
- ニューモデルを中心に引き続き新車販売に注力
- 中古車販売も重要視
- •ストック型ビジネスの拡充
- 商品回転率を高め、資本効率のよい経営目指す

連結業績予想



(単位:百万円)	2020 年度 (実績)	2021年度 (予想)	増減額	増減率
売上高	35,068	36,134	+1,066	+3.0%
営業利益	1,160	1,180	+20	+1.7%
営業利益率	3.3%	3.3%	±0Pt	_
経常利益	1,196	1,170	▲26	▲ 2.2%
経常利益率	3.4%	3.2%	▲0.2Pt	_
当期純利益	802	737	▲ 65	▲8.1%
当期純利益率	2.3%	2.0%	▲0.3Pt	_

売上高、営業利益ともに前期比増を予想

株主還元



株主還元



- ・これまで
 - →配当性向は15%を目途とし、安定的かつ継続して実施 前期実績は16.4%
- ・2021年6月期より
 - →配当性向の目途を15%→17.5%に

1株当たり	2020年6月期 (実績)	2021年6月期 (予想)
中間配当	5円00銭	5円00銭
期末配当	9円00銭	8円59銭
年間配当	14円00銭	13円59銭

株主優待



保有株式数*

基準日

優待内容

100株

6月末日

QUOカード 1,000円分

*基準日の当社株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上の株式を保有されている株主様を対象

APPENDIX



会社概要・沿革



会社概要



商号 株式会社ウイルプラスホールディングス

代表者名 代表取締役社長 成瀬 隆章

設立年月日 2007年10月25日

本社所在地 東京都港区芝5丁目13番地15号 芝三田森ビル8階

資本金 208百万円(2020年6月末時点)

株式市場 東証第一部(証券コード3538)

ウイルプラスホールディングス

チェッカーモータース(株)

インポーター FCAジャパン(株)

ジャガー・ランドローバー

・ジャパン(株)

店舗数 17店舗(2020年6月末時点)

取扱いブランド











ウイルプラスモトーレン(株)

インポーター ビー・エム・ ダブリュー㈱

店舗数 9店舗(2020年6月末時点)

取扱いブランド





帝欧オート(株)

インポーター ボルボ・カー・ ジャパン(株)

店舗数 4店舗(2020年6月末時点)

取扱いブランド



ウイルプラスアインス(株)

インポーター ポルシェ ジャパン(株)

店舗数 2店舗(2020年6月末時点)

取扱いブランド



会社沿革



2008年7月

チェッカーモータース(株) 子会社化

- ⇒関東エリアへの本格進出
- ⇒FIAT・Alfa Romeoの取扱い開始

2009年7月 クライスラー日本㈱より直営店2店舗譲受

2009年9月 ウイルプラスモトーレン(株) BMW・MINI 5店舗の事業譲受 ⇒BMW・MINIの取扱い開始

2014年4月 帝欧オート㈱子会社化 ⇒VOLVOの取扱い開始

2017年11月 ウイルプラスアインス(株)を設立

2018年4月 ジャガー・ランドローバー湘南 事業譲受 ⇒JAGUAR · LANDROVERØ 取扱い開始

2018年12月 ポルシエ仙台事業譲受 ⇒PORSCHEの取扱い開始

⇒東北エリア初進出

2019年3月 MINI山口、MINI NEXT 周南新規オープン ⇒中国エリア初進出

2019年4月 ジャガー・ランドローバー 三鷹事業譲受



JEEP



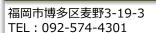


Jeep Wrangler

KYUSHU AREA









福岡市西区福重4-5-3 TEL: 092-894-5030



久留米市東合川7-1-1 TEL: 0942-40-7775



北九州市小倉北区木町1-8-3 TEL: 093-583-0770

TOKYO AREA





世田谷区上野毛1-34-11 TEL: 03-3704-1261



茅ケ崎市赤松町6-50 TEL: 0467-50-1411



目黒区下目黒2-23-18 TEL: 03-5436-6631

Alfa Romeo/FIAT/ABARTH













TOKYO AREA





世田谷区玉川田園調布2-7-19 TEL: 03-3722-3722



茅ケ崎市赤松町6-50 TEL: 0467-50-1421



世田谷区世田谷2-4-11 TEL: 03-5426-4301



板橋区小茂根4-9-2 TEL: 03-5917-0377



大田区南千束1-3-8 TEL: 03-5754-3728



大田区南千束1-3-8 TEL: 03-5754-3722

JAGUAR/LAND ROVER











LAND ROVER RANGE ROVER VELAR

KYUSHU AREA



TOKYO AREA





茅ヶ崎市汐見台2-22 TEL: 0467-39-5517



平塚市四之宮5-10-9 TEL: 0463-51-4088



平塚市四之宮3-3-7 TEL: 0463-23-2188



三鷹市野崎3-25-12 TEL: 0422-31-1120



北九州市小倉北区西港町30-1 TEL: 093-562-0707

BMW







KYUSHU AREA





北九州市小倉北区竪町1-1-25

TEL: 093-591-1166



Willplus BMW八幡

北九州市八幡東区桃園2-1-1 TEL: 093-663-6555



BMW Premium Selection八幡

北九州市八幡東区桃園2-1-1 TEL: 093-663-6555

MINI



KYUSHU AREA

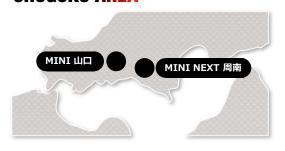






MINI MINI 3 DOOR

CHUGOKU AREA





北九州市小倉北区木町1-7-10 TEL: 093-571-4132



MINI福岡西

福岡市西区福重3-33-11 TEL: 092-892-8132



MINI博多

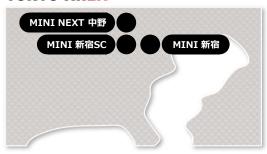
福岡市博多区麦野3-19-5 TEL: 092-593-9832



MINI新宿

新宿区西新宿6-14-1 TEL: 03-5909-8632

TOKYO AREA





中野区江原町2-28-10 TEL: 03-3954-5021



MINI山口

山口市朝田939-1 TEL: 083-901-3132



MINI NEXT周南

周南市横浜町13-7 TEL: 0834-33-6800

VOLVO







VOLVO XC40

KYUSHU AREA





福岡市早良区飯倉3-20-38 TEL: 092-832-2233



北九州市戸畑区一枝 4-7-22 TEL: 093-873-3838



大野城市御笠川4-12-1 TEL: 092-504-8800



ボルボ・カー久留米

久留米市東合川 4-1-27 TEL: 0942-45-0960

PORSCHE

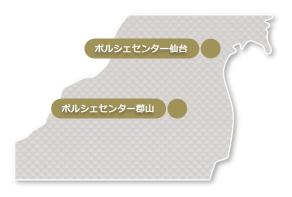






PORSCHE 911

TOHOKU AREA





仙台市泉区山の寺2-1-13 TEL: 022-375-0911



郡山市喜久田町松ヶ作16-200 TEL: 024-963-1911

チェッカーモータース (株)









KYUSHU AREA





宗像市王丸786-4 TEL: 0940-37-7007

市場動向



国内自動車市場



国内新車登録台数は減少傾向

少子高齢化 性能向上による保有期間の長期化 消費スタイル・嗜好の変化

国内新車登録台数(軽自動車除く)推移

1996年

538万台

2019年

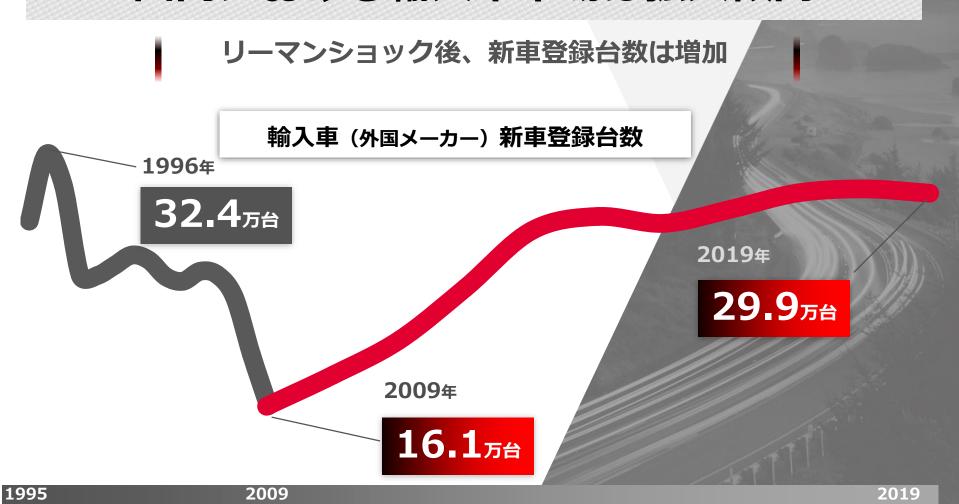
328万台

2000 2005 2010 2019 1995

国内輸入車市場



国内における輸入車市場は拡大傾向

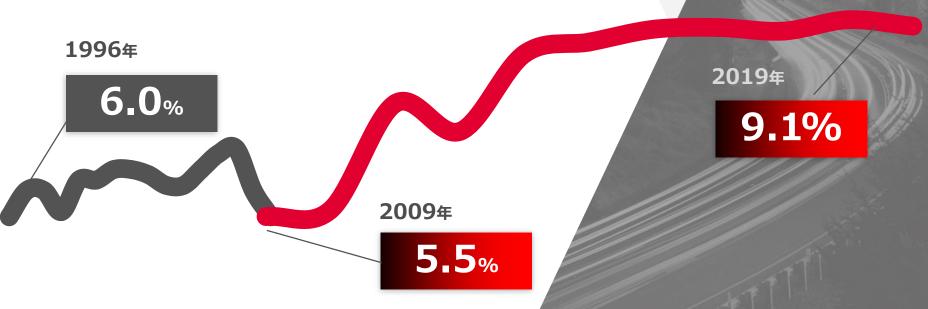


国内輸入車市場



国内乗用車(軽自動車除く)における 輸入車シェアは 増加

国内新車登録台数(軽自動車除く)における 輸入車シェア登録台数



1995 2009 2019

国内輸入車シェアの拡大



日本の輸入車シェアは拡大傾向だが、諸外国比では低水準



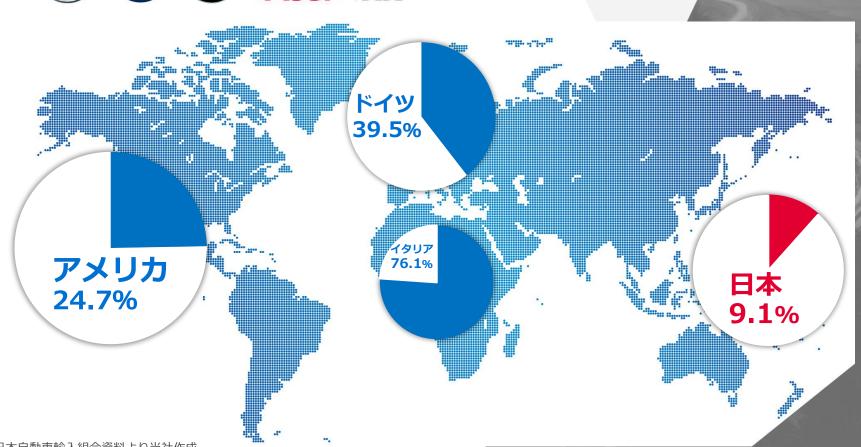








を擁するドイツの輸入車シェアは39.5%



ストック型ビジネスの今後の重要性



車の長寿化 技術革新保有台数増加

自動車産業は 大変革の時期を 迎えようとしている

1970年

ストック型 ビジネスの 拡大



2020年





CASE connected







修理もメーカーの専用診断機が必要になり、 ディーラーでのみ行える修理が増える。 →**正規ディーラーの重要性が高まる**



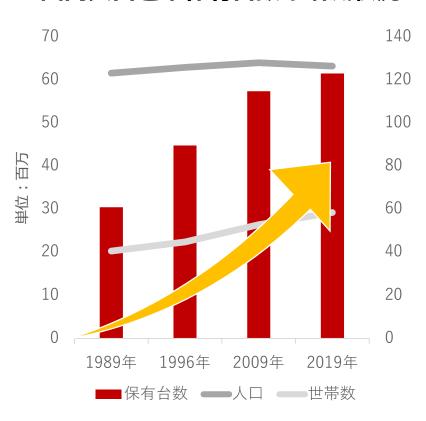
車両へのSIMカード搭載により、スマホを通して 状態把握や遠隔操作ができる車が増えている カーナビや車両制御プログラムを インターネット経由でアップデートするメーカーも



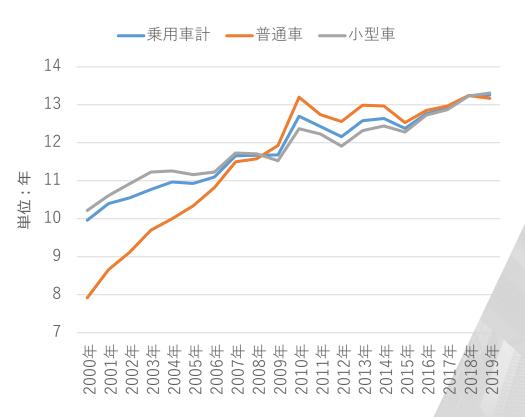


横ばいの人口に対し、車保有台数や平均使用年数は増加傾向。

国内人口と車保有台数の増減状況



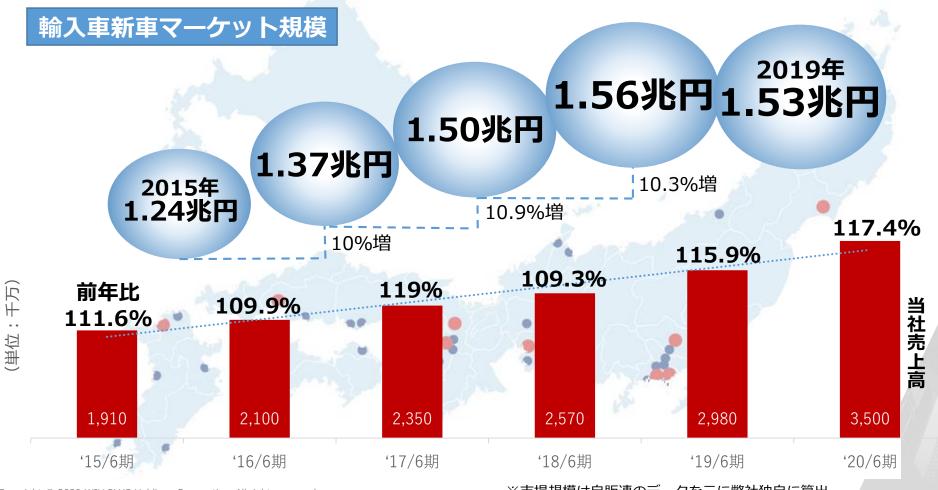
自動車平均使用年数推移



マーケット規模と今後の展望



市場規模、当社の売上高ともに堅調に成長。 中小規模ディーラーの集約化が進む中、M&Aでシェア拡大を目指す。



業績データ





免責事項・お問い合わせ



本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し等の将来に関する記述が含まれております。

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、情報の正確性等について保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせは下記まで

株式会社ウイルプラスホールディングス IR室

E-mail: <u>ir-info@willplus.co.jp</u>

電話番号:03-5730-0589(土日祝除く10時00分~17時00分)

URL: https://www.willplus.co.jp

未来に+ (なの喜びを

私たちはお客様に輸入車のある生活を提案し、関わる全ての人々を笑顔に 変えていく挑戦を続けます